年間授業計画　新様式例

高等学校 令和６年度（１年次用） 教科　　国語　　科目　言語文化

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　2　単位

対象年次組：第　1 年次　451 組～　455 組

教科担当者：　（　451組～454組：a木下・b高橋・c釜崎）　（　445組：a木下・b岡崎　　）

使用教科書：（ 新編言語文化（東京書籍）、トリプルアプローチ字義で覚える常用漢字、改訂新版最新国語便覧（浜島書店） ）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉の持つ価値への認識を深めるとともに，言語感覚を磨き，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　言語文化　　の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	古文１　「古文に親しむ」「見のそら寝」「用光と白波」「絵仏師良秀」等 【知識及び技能】古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取る。	・本文を音読し，歴史的仮名遣いに慣れさせる。 ・登場人物の心情や作者の意図を理解させる。 ・現代語訳する際の注意点を理解させる。			○	［知技］古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	5
	随想　「さくらさくらさくら」「「花」といえば「桜」」「「美しい」ということ」等 【知識及び技能】常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】進んで本文の内容について理解を深め，筆者の考えを整理しようとする。	・引用歌や体験談に注意しながら，日本独特の桜に対する感性について理解を深めさせる。 ・現代の言語文化に息づいている古典の常識について興味を持たせる。 ・筆者の経験と分析について理解し，「美しい」ということについて考えさせる。		○	○	［知技］常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ［思判表］「読むこと」において，　作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ［主］進んで本文の内容について理解を深め，筆者の考えを整理しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査						○	○	○	1
	小説１「とんかつ」、「雨漏りの音」 【知識及び技能】常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】進んで本文の内容について理解を深め，筆者の考えを整理しようとする。	・会話や行動の描写に着目して，登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・登場人物の心の動きを読み取り，人間関係の在り方について考える。		○	○	［知技］常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ［思判表］「読むこと」において，　作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ［主］進んで本文の内容について理解を深め，筆者の考えを整理しようとしている。	○	○	○	7
	古文２「徒然草」「枕草子」 【知識及び技能】古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取る。	・本文を音読し，歴史的仮名遣いに慣れさせる。 ・登場人物の心情や作者の意図を理解させる。 ・現代語訳する際の注意点を理解させる。			○	［知技］古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1
2学期	小説２「羅生門」「元になった古典作品と読み比べよう」等 【知識及び技能】常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】進んで描かれている内容についての見解をまとめ，学習課題に沿って，話し合い等を通じて得た他の意見も踏まえながら，考えを深めようとする。	・極限状態にある登場人物の心情の変化を，場面の展開に即して読み取り，主題を考えさせる。	○	○	○	［知技］言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。。 ［思判表］「読むこと」において，　作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ［主］進んで描かれている内容についての見解をまとめ，学習課題に沿って，話し合い等を通じて得た他の意見も踏まえながら，考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	詩歌「柳あをめる【短歌】」、「雪の深さを【俳句】」等 【知識及び技能】言葉には，文化の継承，発展，創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】進んで詩歌の特徴や表現効果を理解し，学習課題に沿って，それぞれの作品にこめられた情景や心情を読み取る。	・詩歌に表れたものの見方，感じ方，考え方を読み取る。		○	○	［知技］古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］進んで詩歌の特徴や表現効果を理解し，学習課題に沿って，それぞれの作品にこめられた情景や心情を読み取ろうとしている。	○	○	○	3
	古文３「折々のうた」、「短歌を作る」等 【知識及び技能】常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】進んで本文の内容について理解を深め，筆者の考えを整理しようとする。	・詩歌に表れたものの見方，感じ方，考え方を読み取る。 ・自分の感じたことや伝えたいメッセージなどを，古典的技法に倣って短歌にし，効果的に書く。		○	○	［知技］古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	3
	定期考査						○	○	○	1

	漢文１，２「訓読の基本」「故事成語―三編」「漢詩」 【知識及び技能】古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し，見通しを持って，古典を学ぶ意味について考えを持とうとする。	・漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解するとともに，格言に親しむ。 ・故事成語の元になった話を読むことを通して，漢文の読解に慣れ親しむ。 ・漢詩とそれを踏まえた古文を読み，漢文が日本文学に与えた影響について知る。			○	［知技］古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し，見通しを持って，古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。	○	○	○	7
	古文４「伊勢物語」「平家物語」 【知識及び技能】古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取る。	・歌物語に描かれている内容を，叙述を基に的確に捉える ・軍記物語特有の表現に注意しながら，登場人物の言動や心情を読み取る。			○	［知技］古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	7
	定期考査						○	○	○	1
３学期	小説３「夢十夜」「デューク」 【知識及び技能】常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使えるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 【学びに向かう力、人間性等】進んで本文の内容について理解を深め，筆者の考えを整理しようとする。	・表現に即して小説を丁寧に読み味わい，そこに展開する独自の世界を味わう。 ・主人公の心情の変化を読み取り，細かい表現に注意して話の展開を捉える				［知技］常用漢字の読みに慣れ，主な常用漢字を書き，文や文章の中で使っている。 ［思判表］「読むこと」において，　作品の内容や解釈を踏まえ，自分のものの見方，感じ方，考え方を深め，我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 ［主］進んで描かれている内容についての見解をまとめ，学習課題に沿って，話し合い等を通じて得た他の意見も踏まえながら，考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	古文５「奥の細道」「文学碑を調べる」「古典芸能へのいざない」「文体の変遷」等 【知識及び技能】古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取る。	・構成に注目しながら，作品にこめられた思いを読み取る。			○	［知技］古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］進んで音読して古典の世界に親しみ，学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。	○	○	○	6
	漢文３，４「論語―八章」「史話―三編」 【知識及び技能】古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉える。 【学びに向かう力、人間性等】進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し，見通しを持って，古典を学ぶ意味について考えを持とうとする。	・漢文の特色を知り，訓読のきまりを理解するとともに，格言に親しむ。 ・故事成語の元になった話を読むことを通して，漢文の読解に慣れ親しむ。 ・漢詩とそれを踏まえた古文を読み，漢文が日本文学に与えた影響について知る。			○	［知技］古典の世界に親しむために，古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。 ［思判表］「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ［主］進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し，見通しを持って，古典を学ぶ意味について考えを持とうとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	1
										合計 76